



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月31日

上場会社名 株式会社きんでん

上場取引所 東

コード番号 1944 URL <http://www.kinden.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 前田 幸一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 錦織 和昭

TEL 06-6375-6000

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

2018年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	207,748	1.7	10,964	8.3	12,324	10.4	7,753	6.5
2018年3月期第2四半期	211,411	5.1	10,128	2.3	11,159	3.9	7,280	5.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 9,967百万円 (19.4%) 2018年3月期第2四半期 12,370百万円 (412.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	35.74	
2018年3月期第2四半期	33.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	579,977	439,212	75.5
2018年3月期	600,925	433,227	71.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 438,095百万円 2018年3月期 432,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		13.00		15.00	28.00
2019年3月期		14.00			
2019年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	0.1	36,000	6.8	38,000	5.9	26,000	11.8	119.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	218,141,080 株	2018年3月期	218,141,080 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2019年3月期2Q	1,188,207 株	2018年3月期	1,187,853 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	216,953,040 株	2018年3月期2Q	216,957,202 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

2019年3月期の個別業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	△2.2	30,000	△7.8	33,000	△5.2	22,000	△16.1	101.40

(注)直近に公表されている個別業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間)	P. 6
四半期連結包括利益計算書(第2四半期連結累計期間)	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(追加情報)	P. 9
3. (参考) 個別財務諸表	P. 10
(1) 四半期個別貸借対照表	P. 10
(2) 四半期個別損益計算書(第2四半期累計期間)	P. 12
4. (参考) 個別業績の概要	P. 13~16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に、設備投資の増加や個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が続きました。

建設業界におきましては、公共投資、民間設備投資ともに堅調に推移し、東京オリンピック・パラリンピック関連事業や再開発事業などの大型工事が本格化する一方、技能労働者の不足や資材価格の上昇により、経営環境に厳しさが残りました。

このような景況下、当社グループは2017年度から2020年度までの4年間の中期経営計画を策定し、強い事業基盤の確立、更なる生産性向上、労働環境の改善と従業員の満足度向上を図るべく、事業活動を展開しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、

完成工事高	2,077億4千8百万円 (前年同期比 1.7%減)
営業利益	109億6千4百万円 (前年同期比 8.3%増)
経常利益	123億2千4百万円 (前年同期比10.4%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	77億5千3百万円 (前年同期比 6.5%増)

となりました。完成工事高は前年同期実績を下回りましたが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績を上回りました。また、2018年4月26日に発表しました第2四半期予想に対して、すべて上回る結果となりました。

個別業績につきましては、

完成工事高	1,821億2千1百万円 (前年同期比 2.7%減)
営業利益	95億5百万円 (前年同期比 5.8%増)
経常利益	118億6千4百万円 (前年同期比12.0%増)
四半期純利益	79億1千2百万円 (前年同期比10.1%増)

となりました。完成工事高は前年同期実績を下回りましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益は前年同期実績を上回りました。また、2018年4月26日に発表しました第2四半期予想に対して、すべて上回る結果となりました。

(個別の完成工事高)

完成工事高は、前年同期より50億5百万円減少し1,821億2千1百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

得意先別は、関西電力が前年同期より8億8千1百万円増加し303億3千1百万円(前年同期比3.0%増)、関西電力グループが前年同期より8億1千1百万円減少し70億3百万円(前年同期比10.4%減)となり、一般得意先は前年同期より50億7千5百万円減少し1,447億8千6百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

工事種別は、配電工事が前年同期より14億7千万円増加し280億9千3百万円(前年同期比5.5%増)、一般電気工事が前年同期より32億4千1百万円減少し1,169億1千4百万円(前年同期比2.7%減)、情報通信工事が前年同期より5億7千9百万円増加し168億6千4百万円(前年同期比3.6%増)、環境関連工事が前年同期より33億9千9百万円減少し107億9千万円(前年同期比24.0%減)、電力その他工事が前年同期より4億1千4百万円減少し94億5千8百万円(前年同期比4.2%減)となりました。配電工事の増加の主な要因は、関西電力の工事量が増加したこと、一般電気工事の減少の主な要因は、工場等が増加したものの、事務所ビル、物流施設等が減少したこと、情報通信工事の増加の主な要因は、計装工事等が減少したものの携帯電話関連等が増加したこと、環境関連工事の減少の主な要因は、商業・娯楽施設等が減少したこと、電力その他工事の減少の主な要因は、架空送電工事等が減少したことによります。

(個別の受注工事高)

受注工事高は前年同期より103億7千4百万円増加し2,502億8千4百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

得意先別は、関西電力が前年同期より32億6千9百万円増加し339億3千万円(前年同期比10.7%増)となり、関西電力グループが前年同期より3億7千万円減少し90億7千4百万円(前年同期比3.9%減)となりました。一般得意先は、前年同期より74億7千5百万円増加し2,072億7千9百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

工事種別は、配電工事が前年同期より37億1百万円増加し312億4千6百万円(前年同期比13.4%増)、一般電気工事が前年同期より4億8千1百万円増加し1,601億6百万円(前年同期比0.3%増)、情報通信工事が前年同期より32億6千2百万円増加し245億1百万円(前年同期比15.4%増)、環境関連工事が前年同期より32億4千4百万円増加し175億8千3百万円(前年同期比22.6%増)、電力その他工事が前年同期より3億1千4百万円減少し168億4千6百万円(前年同期比1.8%減)となりました。配電工事の増加の主な要因は、関西電力の工事量が増加したこと、一般電気工事の増加の主な要因は、物流施設等が減少したものの商業・娯楽施設、工場等が増加したこと、情報通信工事の増加の主な要因は、CATV設備等が増加したこと、環境関連工事の増加の主な要因は、商業・娯楽施設や工場等が増加したこと、電力その他工事の減少の主な要因は、架空送電工事等が減少したことによります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ280億2千3百万円減少し、3,362億2千6百万円(前年度末比7.7%減)となりました。減少の主なものは、受取手形・完成工事未収入金等で、工事代金の回収が順調に進んだことが要因です。手元資金(現金預金及び有価証券)は、170億2千3百万円増加し、1,648億9千9百万円となりました。手元資金の増加は、売上債権の回収が、仕入債務や法人税、配当金の支払い等の支出を上回ったことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ70億7千5百万円増加し、2,437億5千万円(前年度末比3.0%増)となりました。有形固定資産は、10億7千2百万円減少し、977億6千1百万円となりました。新規取得及び除売却に特に大きなものはなく、減価償却費が有形固定資産の取得額を上回ったことが主な要因です。投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ81億8千9百万円増加し、1,439億8千8百万円となりました。投資有価証券の時価の上昇による増加が主な要因です。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ209億4千8百万円減少し、5,799億7千7百万円(前年度末比3.5%減)となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ278億9千6百万円減少し、1,085億7千1百万円(前年度末比20.4%減)となりました。減少の主な要因は、材料費等の仕入債務の支払いが進んだことによる支払手形・工事未払金等の減少と、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少によります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ9億6千4百万円増加し、321億9千3百万円(前年度末比3.1%増)となりました。投資有価証券の時価の上昇による繰延税金負債の増加が主な要因です。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ269億3千2百万円減少し、1,407億6千5百万円(前年度末比16.1%減)となりました。

(純資産)

株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加、株主配当による減少等の結果、前連結会計年度末と比べ37億7千2百万円増加し、3,996億3千万円となりました。

その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金が投資有価証券の時価の上昇により増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ22億5千5百万円増加し、384億6千5百万円となりました。

また、非支配株主持分は11億1千6百万円となりました。

これらの結果、純資産は、前連結会計年度末に比べ59億8千4百万円増加し、4,392億1千2百万円(前年度末比1.4%増)となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末より3.6ポイント上昇し、75.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績は想定範囲内で推移しており、現時点では2018年4月26日に発表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	45,876	42,899
受取手形・完成工事未収入金等	199,744	144,469
有価証券	102,000	122,000
未成工事支出金	12,781	22,277
材料貯蔵品	1,168	1,146
その他	4,812	5,328
貸倒引当金	△2,132	△1,894
流動資産合計	364,250	336,226
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	91,287	91,675
機械・運搬具	38,945	39,401
工具器具・備品	10,700	10,969
土地	57,766	57,357
建設仮勘定	23	98
減価償却累計額	△99,888	△101,740
有形固定資産合計	98,834	97,761
無形固定資産	2,041	2,000
投資その他の資産		
投資有価証券	129,157	138,013
繰延税金資産	879	953
その他	6,721	5,979
貸倒引当金	△960	△957
投資その他の資産合計	135,798	143,988
固定資産合計	236,674	243,750
資産合計	600,925	579,977

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	68,764	49,071
短期借入金	16,240	15,090
未払法人税等	8,838	4,525
未成工事受入金	14,017	16,790
工事損失引当金	534	582
完成工事補償引当金	510	509
役員賞与引当金	195	—
その他	27,367	22,001
流動負債合計	136,468	108,571
固定負債		
繰延税金負債	4,652	5,881
役員退職慰労引当金	297	272
退職給付に係る負債	25,923	25,739
その他	356	301
固定負債合計	31,229	32,193
負債合計	167,698	140,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,411	26,411
資本剰余金	29,623	29,218
利益剰余金	340,873	345,051
自己株式	△1,049	△1,050
株主資本合計	395,858	399,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,857	45,253
為替換算調整勘定	△343	△776
退職給付に係る調整累計額	△6,304	△6,011
その他の包括利益累計額合計	36,209	38,465
非支配株主持分	1,159	1,116
純資産合計	433,227	439,212
負債純資産合計	600,925	579,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
完成工事高	211,411	207,748
完成工事原価	176,734	171,984
完成工事総利益	34,677	35,764
販売費及び一般管理費	24,549	24,799
営業利益	10,128	10,964
営業外収益		
受取利息	136	158
受取配当金	820	899
不動産賃貸料	119	89
持分法による投資利益	45	35
為替差益	42	252
その他	199	237
営業外収益合計	1,364	1,673
営業外費用		
支払利息	133	120
特別弔慰金	56	3
その他	144	189
営業外費用合計	333	313
経常利益	11,159	12,324
特別利益		
固定資産売却益	6	30
投資有価証券売却益	—	20
会員権売却益	0	1
関係会社清算益	—	22
特別利益合計	6	74
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	4	33
減損損失	1	265
投資有価証券評価損	0	18
会員権売却損	1	—
会員権評価損	2	0
特別損失合計	11	319
税金等調整前四半期純利益	11,154	12,078
法人税等	3,916	4,312
四半期純利益	7,237	7,766
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,280	7,753

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	7,237	7,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,036	2,395
為替換算調整勘定	△416	△487
退職給付に係る調整額	512	293
その他の包括利益合計	5,132	2,200
四半期包括利益	12,370	9,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,414	10,009
非支配株主に係る四半期包括利益	△43	△42

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,154	12,078
減価償却費	2,516	2,541
減損損失	1	265
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△325	△286
工事損失引当金の増減額(△は減少)	265	47
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	641	269
受取利息及び受取配当金	△957	△1,058
支払利息	133	120
為替差損益(△は益)	△23	△150
持分法による投資損益(△は益)	△45	△35
投資有価証券評価損益(△は益)	0	18
会員権評価損	2	0
固定資産売却損益(△は益)	△4	△29
固定資産除却損	4	33
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△20
関係会社清算損益(△は益)	—	△22
売上債権の増減額(△は増加)	32,874	55,992
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△7,856	△9,507
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	7	110
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,936	△20,300
未成工事受入金の増減額(△は減少)	3,890	2,809
その他	△7,003	△6,722
小計	17,339	36,155
利息及び配当金の受取額	1,089	1,184
利息の支払額	△133	△120
法人税等の支払額	△9,231	△8,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,064	28,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,413	△4,070
定期預金の払戻による収入	1,347	6,122
固定資産の取得による支出	△1,444	△1,564
固定資産の売却による収入	2	115
投資有価証券の取得による支出	△4,593	△6,618
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,227	1,000
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	7	8
その他	△167	△410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,034	△5,417
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△850	△1,150
自己株式の取得による支出	△3	△1
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△3,037	△3,254
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△62	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,953	△4,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△207	△152
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	868	18,516
現金及び現金同等物の期首残高	139,333	141,478
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	634
現金及び現金同等物の四半期末残高	140,201	160,629

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用算定方法)

税金費用の算定については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. (参考) 個別財務諸表

(1) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	18,810	14,988
受取手形	4,281	2,763
電子記録債権	35,283	26,019
完成工事未収入金	140,348	100,853
有価証券	102,000	122,000
未成工事支出金	11,391	18,966
材料貯蔵品	721	796
その他	3,318	3,850
貸倒引当金	△2,088	△1,806
流動資産合計	314,067	288,431
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	81,982	82,179
機械・運搬具	21,110	21,595
工具器具・備品	9,421	9,638
土地	55,444	55,075
建設仮勘定	18	71
減価償却累計額	△85,121	△86,294
有形固定資産合計	82,855	82,266
無形固定資産		
借地権	116	116
電話加入権	148	148
ソフトウェア	1,549	1,543
無形固定資産合計	1,815	1,808
投資その他の資産		
投資有価証券	122,174	131,158
関係会社株式	7,832	9,345
長期貸付金	15	14
関係会社長期貸付金	16,935	16,943
長期前払費用	123	128
その他	4,667	3,826
貸倒引当金	△893	△892
投資その他の資産合計	150,855	160,523
固定資産合計	235,526	244,599
資産合計	549,593	533,030

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,760	1,369
工事未払金	58,132	41,584
短期借入金	15,210	14,860
未払金	7,535	6,891
未払費用	12,258	9,915
未払法人税等	7,612	3,922
未成工事受入金	9,838	11,071
工事損失引当金	530	582
完成工事補償引当金	225	269
役員賞与引当金	86	—
その他	5,809	3,923
流動負債合計	118,998	94,390
固定負債		
繰延税金負債	7,099	8,079
退職給付引当金	15,654	15,930
その他	917	800
固定負債合計	23,670	24,810
負債合計	142,669	119,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,411	26,411
資本剰余金		
資本準備金	29,657	29,657
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	29,657	29,657
利益剰余金		
利益準備金	6,602	6,602
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	326	326
別途積立金	274,400	293,400
繰越利益剰余金	28,666	14,325
利益剰余金合計	309,996	314,655
自己株式	△1,049	△1,050
株主資本合計	365,016	369,673
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,908	44,155
評価・換算差額等合計	41,908	44,155
純資産合計	406,924	413,828
負債純資産合計	549,593	533,030

(2) 四半期個別損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
完成工事高	187,126	182,121
完成工事原価	156,734	150,981
完成工事総利益	30,392	31,140
販売費及び一般管理費	21,403	21,634
営業利益	8,988	9,505
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,633	2,273
その他	248	346
営業外収益合計	1,882	2,619
営業外費用		
支払利息	120	116
その他	158	143
営業外費用合計	278	260
経常利益	10,592	11,864
特別利益	3	74
特別損失	8	319
税引前四半期純利益	10,587	11,619
法人税等	3,398	3,706
四半期純利益	7,188	7,912

(注) 開示した四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

4. (参考) 個別業績の概要

(1) 2019年3月期第2四半期の個別業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

①個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	182,121	△2.7	9,505	5.8	11,864	12.0	7,912	10.1
2018年3月期第2四半期	187,126	5.0	8,988	△2.1	10,592	3.7	7,188	6.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	36.47	—
2018年3月期第2四半期	33.14	—

②個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	533,030	413,828	77.6	1,907.46
2018年3月期	549,593	406,924	74.0	1,875.63

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 413,828百万円 2018年3月期 406,924百万円

(2) 受注工事高、完成工事高及び手持工事高

(単位：百万円)

項 目	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		増 減 (△)
	金額	%	金額	%	
期首手持工事高	320,046		329,145		9,098
期中受注工事高	239,910		250,284		10,374
合 計	559,956		579,429		19,473
内完成工事高	187,126		182,121		△5,005
差引手持工事高	372,829		397,308		24,478

(3) 得意先別受注工事高及び完成工事高

①受注工事高

(単位：百万円)

得 意 先	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		増 減 (△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
関西電力(株)	30,660	12.8	33,930	13.6	3,269	10.7
関西電力グループ	9,444	3.9	9,074	3.6	△370	△3.9
一 般 得 意 先	199,804	83.3	207,279	82.8	7,475	3.7
合 計	239,910	100.0	250,284	100.0	10,374	4.3

②完成工事高

(単位：百万円)

得 意 先	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		増 減 (△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
関西電力(株)	29,450	15.7	30,331	16.7	881	3.0
関西電力グループ	7,815	4.2	7,003	3.8	△811	△10.4
一 般 得 意 先	149,861	80.1	144,786	79.5	△5,075	△3.4
合 計	187,126	100.0	182,121	100.0	△5,005	△2.7

(4) 工事種別受注工事高及び完成工事高

①受注工事高

(単位：百万円)

工事種別	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
配電工事	27,545	11.5	31,246	12.5	3,701	13.4
一般電気工事	159,625	66.5	160,106	64.0	481	0.3
情報通信工事	21,238	8.8	24,501	9.8	3,262	15.4
環境関連工事	14,338	6.0	17,583	7.0	3,244	22.6
電力その他工事	17,161	7.2	16,846	6.7	△314	△1.8
合計	239,910	100.0	250,284	100.0	10,374	4.3

②完成工事高

(単位：百万円)

工事種別	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
配電工事	26,623	14.2	28,093	15.4	1,470	5.5
一般電気工事	120,155	64.2	116,914	64.2	△3,241	△2.7
情報通信工事	16,284	8.7	16,864	9.3	579	3.6
環境関連工事	14,189	7.6	10,790	5.9	△3,399	△24.0
電力その他工事	9,873	5.3	9,458	5.2	△414	△4.2
合計	187,126	100.0	182,121	100.0	△5,005	△2.7

(5) 工事種別手持工事高

(単位：百万円)

工事種別	前第2四半期末 (2017年9月30日)		当第2四半期末 (2018年9月30日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
配電工事	8,053	2.2	10,336	2.6	2,283	28.4
一般電気工事	294,886	79.1	310,050	78.0	15,164	5.1
情報通信工事	14,541	3.9	16,085	4.1	1,544	10.6
環境関連工事	23,838	6.4	29,002	7.3	5,164	21.7
電力その他工事	31,510	8.4	31,832	8.0	322	1.0
合計	372,829	100.0	397,308	100.0	24,478	6.6

(6) 2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)受注工事高及び完成工事高予想

①得意先別

(単位:百万円)

得意先	受注工事高		完成工事高	
	金額	%	金額	%
関西電力㈱	60,000	13.3	59,000	13.7
関西電力グループ	15,500	3.5	15,000	3.5
一般得意先	374,500	83.2	356,000	82.8
合計	450,000	100.0	430,000	100.0

②工事種別

(単位:百万円)

工事種別	受注工事高		完成工事高	
	金額	%	金額	%
配電工事	58,500	13.0	56,500	13.2
一般電気工事	294,500	65.4	279,000	64.9
情報通信工事	43,500	9.7	43,500	10.1
環境関連工事	30,500	6.8	28,500	6.6
電力その他工事	23,000	5.1	22,500	5.2
合計	450,000	100.0	430,000	100.0

(注) 1. (3)、(6)の関西電力グループには、関西電力㈱は含んでいません。

2. (6)の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上